

# 井尻小学校 校報 井尻の子!



<第9号> 令和2年12月3日発行 (校長 堀江 博生)

## 秋から冬へ・・・

先日の通勤の途中、大山が白くなっているのを初めて気づきました。季節は冬へ近づいています。そんな中、昼休みには校庭から子どもたちの元気な声が聞こえてきます。新型コロナウイルスの感染拡大がおさまらず心配な時期は続きますが、子どもたちが、コロナにもインフルエンザにも負けず、ずっと元気であってほしいと願う今日この頃です。

## 11月14日(土) 学習発表会を行いました。

少し前のことになってしまいましたが、11月14日(土)に学習発表会を行いました。当日、子どもたちはどの学年も堂々と落ち着いた発表をしました。当日までにたくさんの台詞を覚え、動きを工夫し、見ていただく方を意識した本当に立派な発表をしました。～私は、前日が出張のため前々日の練習しか見ることができませんでしたが、本番当日の子どもたちの発表は、声の大きさ、間の取り方、動き…どれをとっても見違えるほどより素晴らしいものに変わっていました。～

もう一つ感心したのは、子どもたちの見る態度のすばらしさです。発表自体がどの学年も工夫を凝らし、見ている人に「伝える」ということを意識した素晴らしい内容であったこともありますが、しっかりとお互いの発表を見て、しっかりと拍手をする・観客となった井尻っ子のすばらしさも感じた時間となりました。

井尻小学校は2学年あわせても10人に満たない複式学級の学校です。身内を褒めるのは気が引けますが、短い時間で学習発表会に向け子どもたちと一緒にアイデアを出し、子どもたちの力を引き出した先生方もまた素晴らしいと感心した時間でした。

来年度は是非、成長した姿を来賓の方や地域のみなさんにも見ていただきたいと思っています。

(学校HPにも写真を掲載しています。)



<子どもたち、保護者のみなさまからの感想を紹介します。>

～各学年の便りで紹介されたものですが、広くみなさんで共有したいと思い再掲します。～

今日、学習はっぴょう会がありました。はずかしかったです。でもたっせいできてうれしかったです。三、四、五、六年生も声やうごきとがっきでよくつたわかりました。楽しかったです。れんしゅうのときよりかはうまくできたし、大きな声が出せてよかったです。

<児童感想：1・2年生の学級だよりより>

今日、学習発表会をしました。私は生き物のしょうかいでくわしく伝えるためにいろんな本を使ってドジョウのひげやドジョウの体長について調べました。前にある本や絵も見て山いん小型スジシマドジョウの絵をかきました。スジシマドジョウに注目してもらうためにまわりを青でぬりました。たまには生き物について調べるのもいいかなと思いました。

<児童感想：3・4年生の学級だよりより>

みんながいろいろな思いを伝えようとしていて、1・2年生にも3・4年生にもすごく伝わっていたと思います。心に残ったことは、マヤが棒で打たれたところがすごく悲しくて心に残りました。6年間でいちばんいい学習発表会にできてよかったです。最後の学習発表会が大成功ですごく心に残りました。

<児童感想：5・6年生の学級だよりより>

勢いのある太鼓にはじまり、1・2年生の「スイミー」は5人とはとても思えないような迫力のある演技でした。見せ場がたくさんあり、見ていてとても楽しかったです。

3・4年生の「伯太川のひみつを調べよう」も、一人一人が役になり切っていましたし、井尻の川がとてもきれいなこと、たくさんの生き物がいること、調査をした子どもたちにとっても、親にとっても勉強になりました。

5・6年生の「マヤの一生」は、とても泣けました。戦争で人にとっても動物にとっても悲しい思い出…。合唱も本当に物語にあって…。本当に争いのない世界がひとつになる時代が来てほしいです。子どもたちにたくさん、たくさんパワーをもらいました。地域の方もおられたら、きっとパワーをもらって帰られたと思います。また、歌で送ってもらった発表会は初めてでした。ありがとうございます。コロナ禍の中、先生方もたいへんだったと思います。子どもも先生方もお疲れさまでした。最高の発表会でした!! <保護者感想>

(本人の了解を得ていませんので、お名前は伏せさせていただきます。)

## 11月20日(金)

## 6年生は伯太町連合小学校交流学習会に出かけました。

11月20日(金)の早朝、まだ暗い中、伯太庁舎に町内の6年生が集まりました。新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から訪問先の変更、実施時期の変更をせざるを得なかった修学旅行が、伯太町連合小学校交流学習会として無事に実施することができました。

週間天気予報では、この日だけが雨…。雨が降ることを覚悟して出かけた交流学習会でしたが、なんと訪問先の大森銀山でもアラスでも一度も傘を開くことはありませんでした。子どもたちの思いが雨雲を吹き飛ばしたのではないかと思うほどでした。

昨年度、宿泊体験学習で共に過ごすことを経験した子どもたちは、打ち解けるのも非常に早かったように思います。大森銀山では、世界遺産センターや街並みの見学を、ガイドさんに案内していただきながら行いました。班別の見学となったアラスでも班ごとに声をかけながら過ごしていました。

きっと新型コロナウイルスが全国的に蔓延するという大変な時期を共に乗り越えた仲間たちだけに、今回の経験が中学校でも生かせるものと思っています。見送りお迎えにご協力いただきました保護者のみなさまありがとうございました。



<お詫びと訂正> 11月4日発行<第8号>において紹介しました鷹入の滝見学の文章の中で、説明していただきました福田主事様を福田館長先生と紹介してしまいました。赤屋交流センターの館長様は細田様です。細田館長様、福田主事様、本当に申し訳ありませんでした。訂正にあわせお詫びいたします。